

嵐山町立小中学校再編基本計画(案)保護者説明会 実施報告

令和5年10月
嵐山町教育委員会 教育総務課

○日程

1. 令和5年10月24日(火) 午後5時30分 北部交流センター
2. 10月27日(金) 午前10時 ふれあい交流センター
3. 10月30日(月) 午後3時30分 嵐山町役場町民ホール

○出席者(全日程共通)

・教育委員会 下村教育長、教育総務課長、教育総務課職員 4人

○次第(全日程共通)

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 嵐山町立小中学校再編基本計画(案)の説明
4. 質疑応答
5. 閉会

○参加人数

1. 北部交流センター(10月24日実施)

参加者数 5人

学校区	菅谷小	0	七郷小	2	志賀小	3
区分	未就学児	2	小学	3	中学	0

2. ふれあい交流センター(10月27日実施)

参加者数 3人

学校区	菅谷小	2	七郷小	0	志賀小	1
区分	未就学児	3	小学	1	中学	0

3. 町民ホール(10月30日実施)

参加者数 13人

学校区	菅谷小	6	七郷小	5	志賀小	2
区分	未就学児	8	小学	11	中学	1

○質疑応答内容

- ・北部交流センター分 3ページ
- ・ふれあい交流センター分 7ページ
- ・町民ホール分 10ページ

○アンケート内容

- ・北部交流センター分 15ページ
- ・ふれあい交流センター分 16ページ
- ・町民ホール分 17ページ

○質疑応答

1. 北部交流センター(10月24日実施)

Q. スクールバスのエリアは計画案に示されているエリアだけか。小学1年生と小学6年生が同じ条件で歩くのはきついと思う。小学3年生まではスクールバスなど、柔軟な対応をお願いしたい。

A. 対象は七郷小へ通学を想定している小学生と古里地区に在住する中学生を想定しているところです。エリアは文科省の基準(小学生4km、中学生6km)よりも少し広域で設定をさせていただいております。しかし、ご指摘の通り、実際問題どうなのかということもあるかと思えます。案を取り、計画を策定する段階でエリアを特定するかどうかを検討すると共に、今後統合準備委員会で決めていきたいと考えております。

Q. 学校を再編すると決めたのは行政か、政治家か。

A. 審議会からいただいた答申をもとに検討し、現在は基本計画(案)を作成し、ご意見をいただいているところです。また、学校統合は条例で定められているものですので、議決案件となっております。今後条例の改正を議会で議決されて進めていくものとなっております。

Q. 一度学校再編の話は潰れているが、議会を通過して動きだしていたのであれば反対も何もなかったのではないか。行政でも政治的なものでもない審議会はフラットな立場であったのか。

A. 審議会はフラットなものであり、中立な立場のものでございます。前回は議会の議決をとる前に、白紙に戻してもう一度初めから仕切りなおすという形になりました。そして今回、新たに審議会を設置し、1年間議論していただき、答申をいただきました。

Q. 統合後の七郷小と志賀小の校舎はどうなるのか。志賀小は避難所に指定されており、取り壊すと避難所がなくなるのではないか。

A. 現在町のプロジェクト会議で検討しています。今後は町民アンケート

トや統合準備委員会での検討、さらに防災の観点からもよく考えて跡地利用について検討していきます。

Q. スクールバスについて、運行本数や間隔など、現時点で決まっていることを教えていただきたい。

A. 現時点では、中型バスを2台で2ルートを検討しており、コースや所要時間、乗車人数等はシミュレーションを行っております。また、下校時のスクールバスについても検討を行っているところです。経費には限りがございますので、適正な範囲で検討してまいります。

Q. スクールバスが出る場合、子供の体力向上を考え七郷小までは歩かせようと考えているがいかがか。

A. それぞれの家の前で子供を乗せるのは難しいと考えていますので、設置したバス停まで歩いてきていただくことは可能かと思いません。現在七郷小にバス停を置くことで内部では検討進めていますが、その他のバス停位置等については今後検討してまいります。

Q. 学童の利用について高学年は利用できない市町村もあると聞いている。スクールバスには学童との兼ね合いもあると思うが考えを伺いたい。

A. 学童については、統合後の学童の数を菅谷ではすべて受けきれないということがございますので、七郷小と志賀小の学童を今後どのように利用していくのかにつきまして、福祉課や保護者アンケートを通して検討し、不便がないように進めていきたいと考えています。

Q. 開校まで6年は時間がかかりすぎなのではないか。

A. 新築するか長寿命化改修をするのかという検討、また、町全体の資金面において検討を行った結果、町としては令和11年度開校がよいという結論に至り、計画を進めさせていただいております。

Q. 先行統合はしないのか。

A. 児童生徒を他の学校へ通学させるというのは児童生徒に大きな負

担がかけられます。その中で、新校舎を建設中は現在の菅谷小学校と菅谷中学校の校舎はそのまま使用できるということになりましたので、先行統合はしないという結論に至りました。

Q. 七郷小と志賀小は先行統合しても良いのではないかと。2クラスになればクラス替えもできるし、このような機会があった方が良くと思うがいかがか。

A. ご指摘のとおり、2クラスあった方が良くと思います。統合もできるだけ早い方が良くと思っています。しかし、統合には引越し業務や通学路の変更など、子供に大きな負担がかかるものでございます。小学校2校を1校に先行統合してから、例えば10年後、20年後に次の統合をとっているのはあるかと思いますが、現在の学校施設の老朽化等のことを考慮すると、今は急いで小学校と中学校を1校に統合する必要があると考えています。統合までの間は学校同士の交流機会をできるだけ多く設けさせていただき、菅谷小学校の位置に統合することが、今はベターなのではないかと考えています。

Q. 先行統合ができない理由は何か。何か弊害があるのか。

A. できない理由はないと思っています。そして、弊害はございませんが、課題となるのは移動手段であると考えています。バスはチャーターになるとしますので、時間の制約や乗れる人数の調整が課題になってくると思います。今後統合準備委員会で、教育課程を検討する中で、できることはしっかりやっていきたいと考えています。

Q. プールの授業は七郷小が志賀小に移動しているが、移動した日はそのまま志賀小で一日交流ができるのではないかと。

A. 検討すればできるのではないかとと思います。算数や国語の授業を一緒にすることは難しいですが、何か違う取り組みの中での交流は可能かと思っています。

Q. 検討は誰が行うのか。

A. 両校の校長で了承し、教育委員会が間に入れば交流は可能かと思っています。

Q この話はどのように校長に伝えれば良いか。

A 説明会で出た質問や意見は校長に伝えてさせていただいております。

Q 開校まで6年間かかる。そんな先ではないと予定ができなかったのか。6年間でどれくらいお金がかかるのか。

A 総事業費は約58億円になります。国庫補助金につきましては国交省の1/2補助の該当で進めているところです。これから補助金の申請手続きで1年、設計で2年、建設で2年と5年半かかる見込みではございますが、有利な補助金をもらうための準備期間を検討した結果、6年で設定させていただきました。

2. ふれあい交流センター(10月27日実施)

- Q. 心のケアに関連して、再編に関することを子供たちへどのように伝えているか。また、今後どのように伝えていくのか。
- A. 説明会等を行っているので、様々な形で子供へは伝わっているのではないかと考えておりますが、どこかのタイミングでは開校時期等を子供たちへお話するようなのかなと考えております。また、心のケアに関して子供たちへ不安や心配なことを聞いて、これらに合うケアをしていく必要があると考えております。
- Q. 自転車通学・徒歩通学のエリアは決まっているか。
- A. 通学の安全・安心に関することについては、今後、統合準備委員会で具体的な検討を進めていきたいと考えております。
- Q. 志賀校区から菅谷校区に通う場合、危険箇所が多く存在する。スクールバス等は遠距離という観点だけではなく、安全面も考慮し検討していただきたい。
- A. 自転車通学、徒歩通学のすべての子供たちの安全・安心な通学環境を確保するために、通学路となる道路の危険箇所等についても点検を実施し、計画的に整備を進めていきたいと考えております。
- Q. 最終学年だけしか新校に在学することができない子供たちへの恩恵は何かないのか。
- A. どうしてもこのようなことは出てきてしまうと思いますが、統合までの間、現在の校舎の改修・修繕についてはできる範囲でしっかりと対応していかなければならないと考えております。
- Q. スクールバスに関して、遅刻等で朝乗り損ねた場合の対応はどうなるか。
- A. 近隣の市町村でも、遅れてしまった子供に対してもう1便バスを出すことができているところはほとんどないと承知しています。乗り遅れてしまった場合は、どうしても親御さんのご協力が必要になってきてしまうところとっておりますが、何か良い案がないか検討する必要はあると思っております。

Q. バス停の位置は決まっているのか。

A. シミュレーション等を行い、おおよその場所は検討しているところですが、統合準備委員会で保護者等のご意見を伺い、安全面等を考慮し具体的な場所を決めていきたいと考えております。

Q. 中学生は体育の授業や部活動の度に町道を横断するのか。

A. 小学校と中学校を一つの敷地に新築した方が小中一貫教育を推進できると考え、小学校中学校共に菅谷小の敷地に新築することになりました。その中で、中学生は十分気を付けて町道を横断して現菅谷中学校の体育館・グラウンドを使用できれば、小学生は町道を横断せずに現在の菅谷小学校の体育館やプールはそのまま使用できると考えました。子供たちの安全面を十分に考慮させていただき、このような配置とさせていただきました。

Q. 校門の場所はどこになるのか。部活動や祭りの際の駐車場等のことを考えると、直接グラウンド・駐車場へ入れるような入口を設けていただけると良いと思うがいかがか。

A. 申し訳ありませんがまだ校門の場所の検討まで至っておりません。スクールバスの乗降場所の位置と合わせて検討していきたいと考えております。また、利便性や防犯性の面も十分考慮して決めていきたいと考えております。

Q. 制服やジャージについて、現在のものをそのまま使用できるのか等を早急に検討いただきたい。業者も、学校統合に伴い現在のものは廃番になる可能性があるということで在庫を持ちたくないというような話を伺っている。

A. 新しいものを購入する必要があるように、現在使用しているものをそのまま使用できるというのが一般的であると考えています。業者の件は今回初めてお聞きした話でございますので、確認させていただきます。

Q. 今後のPTAの検討(菅谷小中のポイント制など)によって、事業の進行が遅れ

ることの無いように進めていただきたい。

- A. PTAの会長・副会長にも協議の場に入っただき、今後のPTA組織をどのように運営していくのか等を保護者の方々を中心に、できるだけ早く検討を進めていただけるようにしていきたいと考えております。

3. 町民ホール(10月30日実施)

- Q. 学校再編は必ず実施されるという理解でよろしいか。一刻も早く進めてもらいたいと考えている。
- A. 今後、学校設置条例を議会へ上程し、小学校を1つに、中学校を1つにという案が可決されれば、その段階で町内の小中学校が1つになるということが決まると考えております。
- Q. 建設に関わる議論よりも、運営に関する議論を早く進めてもらいたいと考えるがいかがか。
- A. 今後統合準備委員会におきまして、保護者や地域の皆さん、教員の方々の様々な意見、さらに子供の意見も取り入れながら進めていきたいと考えています。
- Q. 志賀一区の小川町寄りにもスクールバスを検討していただきたい。バスが停まる位置が難しいならば、堂沼あたりまででも良いので出してもらいたいかがか。
- A. 計画案ではこのようにお示しさせていただいているところですが、スクールバスの運行範囲等、通学に関する詳細な部分につきましては、保護者の方々も交えまして統合準備委員会で検討していきたいと考えています。
- Q. 自宅は杉山だが、調整区域のため申請をして七郷小ではなく志賀小に通学している。スクールバスは七郷小へ通学を想定している小学生とあるが、調整区域の線引きはどうなるのか。
- A. 現在は志賀小の子供はスクールバスの対象と想定してはございませんが、あくまで想定でございますので、今後どこまでスクールバスの範囲を膨らませることができるのか、バス停やルート等も含めて統合準備委員会で検討していきます。
- Q. 中学生のスクールバスは古里地区となっており、それ以外は自転車通学となる。菅谷までは交通量の多い道路が多く通学が心配である。検討をお願いしたい。

A. 中学生の自転車通学に関しては説明会やパブリックコメントでもたいへん多くのご意見をいただいております。今後学校関係者も含めて検討していきます。また、検討内容は皆様へすぐにお知らせしていきたいと考えています。

- Q. ● 駐車場は多くの車が駐車できるように広く作っていただきたい。
● 制服や体操着は開校11年度よりも前倒しで購入できるようにしていただきたい。
● 中学生のスクールバスは杉山などの子供たちにも検討していただきたい。

A. ● 駐車場は現在の菅谷中の敷地に整備しますが、現時点では具体的な台数は申し上げられません。できるだけ多くの台数が駐車できるように設計したいと考えています。
● 制服や体操着については現時点ではっきりしたことは申し上げることはできませんが、一定期間はどの制服や体操着を着ても構わない期間を設けさせていただき、保護者に経済的負担はかけないように検討していきます。
● スクールバスについては今後エリア等について具体的に検討していきます。

- Q. 七郷小を特認校として残す議論はされたのか。

A. 審議会での検討が始まった際、統合のやり方について様々な議論がなされました。その中で審議会から、菅谷に新しい小学校・中学校を建設するという答申をいただきました。この計画も、その答申を最大限に尊重して検討したものでございます。今後は皆様からいただいたパブリックコメントや意見等をもとに基本計画案の修正を行い、改めて計画をお示しする予定です。詳細な部分な統合準備委員会で検討を行い、決まったことは皆さんへ引き続き情報発信していきたいと思っております。

- Q. 学校再編には様々な意見があり、反対の人もたくさんいる。学校は地域と歩んできたものであり、そういう地域の人の思いを忘れないようにしてほしい。

A. ご意見ありがとうございます。町内にはすでに歴史を閉じた学校がございます。今後もそういうことが起こるのは悲しいことではございますが、そういう気持ちを刻みながら再編を進めていきたいと思いま

す。

Q. 再編をやると決めたからには強い意志を持って進めてほしい。菅谷に学校が来るイメージではなく、みんなで一緒に新しい学校を作るイメージで進めていただきたい。菅谷主導にならないことを願う。

A. 統合することによって町内全ての学校の歴史は一度閉じますが、新しく作る学校でまた新たな歴史を作っていくと捉えております。町の広報の企画の中でも、ほかの学校の子と友達になりたい、たくさん友達を作りたいという声をいただいております。子供たちには多くの友達を作ってください、自由に羽ばたいていってもらいたいという思いがあります。これらのことを念頭におきながら再編を進めていきたいと考えています。

Q. 統合はみんなが楽しくワクワクできるように進めていけたら良い。北部の方々が心配するようなことはあってはならないと思う。北部を使った授業を実施するなど、町の資源をすべて活用するような認識で、前を向いて再編を進めていけたら良いと思う。

A. そのように進めていきたいと思えます。地域のことや、跡地利用に関する事など、地域の声を十分に聞きながら進めていきたいと思えます。

Q. ● スクールバスは登校時よりも下校時の方が重要であると思う。学童との関係もあるが、下校時間にバスは時間通り運行できるのか。
● スクールバスは開校の前年度くらいから試し運行をしても良いのではないのか。
● 統合準備委員会のメンバーはどこからどう集めるのか教えていただきたい。

A. ● 下校時は小学生の終業後、中学生の部活動後を想定しています。学童への送迎はスクールバスの下校時の運用の中で想定しています。
● 契約があることですので、前年度からの試し運行は難しいとは思いますが、運行経路の調査等はしっかり検討していきたいと思えます。
● 多くの方の意見を取り入れられるように進めていきたいと思いま

す。

Q 統合に対して賛成の方もいれば、七郷小を残したいという方もいる。両方を存続させることは厳しいのか。

A 審議会におきまして、今後子供たちにとってどのような教育環境を整えていくことが良いのかを検討していただいた中で、小学校3校を1校に統合するという進めております。七郷小の良さは町民誰もがわかっているところだと思っておりますが、統合した方がより良い教育環境を作れるのではないかとということで、再編を進めさせていただいております。七郷小の良さを生かした学校づくりを今後進めていきたいと思っております。

Q 七郷小の良さを生かした学校づくりはどのようなことができると思うか。

A 現在行っている田植え体験や、おおむらさきの越冬観察など、町内の自然を生かした授業を行い、町内のいろいろな場所をみんなで共有していきたいと思っております。

Q ● 菅谷に小学校・中学校が全て集まると、ほかの杉山や太郎丸などは20年後30年後には住む人がいなくなってしまうのではないかと危惧している。使わなくなった校舎の利用方法はどうするのか。

● 校舎は鉄筋コンクリート造ではなく木造が良いと思うがいかがか。

A ● まちづくりについては、町の総合振興計画の中で計画されたものがございますので、そういった計画も含めまして考えていくものと思っております。また、跡地利用につきましては、町のプロジェクトチームで検討を進めていきます。町民の皆さんへアンケートをとり、良いものとなるように進めていきたいと思っております。

● 耐用年数の関係もあり、木造ですと償還年数が鉄筋コンクリートよりも短くなってしまう関係で、躯体は鉄筋コンクリート造で進めていきますが、内装は木質化していきたいと考えています。

Q 安全安心な通学環境の確保について、通学路の危険個所の点検はどのように行うのか。

A 具体的には決まっておりませんが、例えば線路をどのように渡るのか、埼玉縣信用金庫の交差点は退避場所が狭いがどうするのか等、どのように整備していくかを教育委員会から通学部会へ提案していこうと思っています。そして決まったことを担当課へ投げかけていき、令和11年度にはそういった懸念事項がないようにしていきたいと考えています。

Q 通学路が自動車の抜け道として利用されているところがあり、ものすごいスピードで自動車が通過している。可能であればゾーン30の設置も検討していただきたい。

A 通学路に関しては毎年点検を行っているところではございますが、スクールゾーンの見直しも進めていきたいと思っています。

○アンケート回答

北部交流センター 2件 (10/24)

番号	区分	アンケート内容
1	保護者 (小)	● プールは外部委託して欲しい。
2	保護者 (幼保)	● 学校統合したら子供は6年生・4年生になります。七小に行くので、上が9人、下が2人の学級になります。 ● 統合での精神面が気になるので、統合後の子の様子をよく見ていただきたいなと思いました。

ふれあい交流センター 2件 (10/27)

番号	区分	アンケート内容
1	保護者 (幼保)	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者向けの説明会は、引き続き開催して頂きたいです。 ● 説明会で出た質疑応答をリアルタイムで HP に掲載して頂きたいです。
2	保護者 (幼保・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 再編を早く進めていただきたいです。 ● 自分の母校がなくなって困るという再編反対の意見があると聞いています。そういった偏った意見にだけ反映するようなことはしないほしいです。

町民ホール 8件 (10/30)

番号	区分	アンケート内容
1	保護者 (幼保・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 3人子供がいます。制服やジャージを前倒して購入できると嬉しい。 ● スクールバスを志賀1区の小川に近い方への検討を是非よろしくお願いいいたします。
2	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 七郷小、玉ノ岡中はとてもすばらしい学校だと思っています。反対している人にもきちんと理由があるのです。 ● どうか子供がいない世代の人が反対しているが、関係ないと言わないでください。そして、いい意見ばかりだけでなく、反対意見もきちんと公表してください。そして、今日来たくても来られなかった方がいるので、また説明会(話し合い)を進めてください。
3	保護者 (未就学・幼保・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● スクールバスの対象を中学生(七郷地区)も入れてほしい。 ● 集合にバス停があるなら、駐輪場も広く作ってほしい。
4	保護者 (幼保)	<ul style="list-style-type: none"> ● 説明や、皆さんの質問・意見を聞いて、とてもよかったです。 ● 頂いた計画案を、よく読みたいと思います。 ● 意見の中にもありましたが、ぜひ子供たちの為に、一番何が良いのかを元に、計画を進めて頂きたいと思います。 ● 木材を使用してとの意見がありましたが、賛成です。できることなら木のおいを感じられるといいなと思います。 ● 学童については、各校にあるものを使用できればと思います。
5	保護者 (幼保・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 七小のロケーションは私も好きです。母校がなくなるのはさみしいです。大きなイチョウはとても印象的で、年十年たった今でも思い出し、グラウンドは広く自然がたくさんで良い思い出ばかりです。 ● 子供は志賀小ですが、七郷ではないと知った調整区域でまわりも志賀小に通っていると知った時は(自分の通っていた学校に通わせられない)さみしかったです。何かしらで七郷小学校は形だけでも残してもらえると良いです。 ● 都内から嵐山に来てくれた、七郷が好きだとおっしゃっていた方に、嵐山に来てくれてありがとうと伝えたいですね。
6	保護者 (小)	<ul style="list-style-type: none"> ● 止まらず、前向きに、迅速に進めて頂きたいです。 ● 嵐山町の未来が、この学校再編にかかっていると思って進めてください。
7	保護者 (幼保)	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆さんの考えが聞けてとても参考になりました。ありがとうございます。

8	保護者 (幼保・小)	<ul style="list-style-type: none"> ● やると決めたのであれば、前向きに議論進めて、再編が後ろ向きではなく、子供たちが喜ぶ、ワクワクするような学校を展開できるように進めていってほしいです。 ● 統合によるメリットをもっと考えて、楽しみながら進めた方が良いと思います。 ● スクールバスについては、物理的に解決できるので、なるべく意向をくむようにしていただきたい。 ● 校舎木造はいいと思います。 ● 跡地利用も統合準備委員会の部会で検討しても良いでしょう。 ● 説明(会)は必要に応じてやるのは当然ですが、無駄に多くしてスピード感がなくなるのは避けてもらいたいです。 ● PDCA の P に時間をかけるのではなく、「C→A」に時間をかけるのが重要です。 ● 志賀一区でスクールバス適用でしたら、川島でも徒歩50～60分かかっているので、川島でもバスを検討できるのではないのでしょうか。 ● 議会で反対が出ても、強い意志をもって一刻も早く進めてください。
---	---------------	---